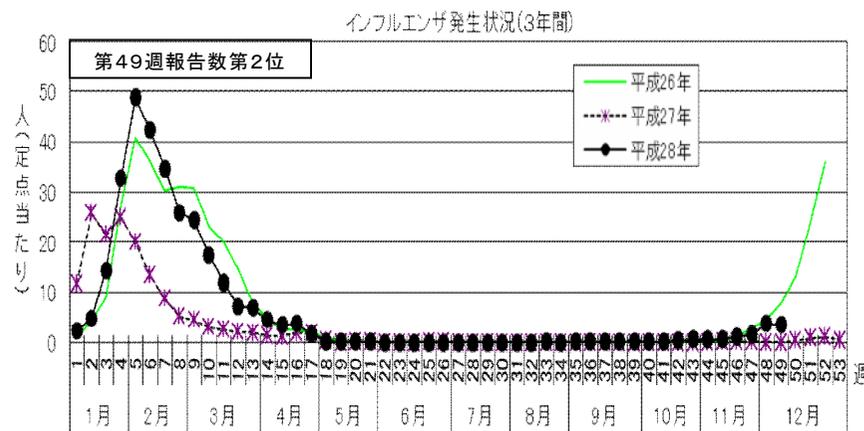
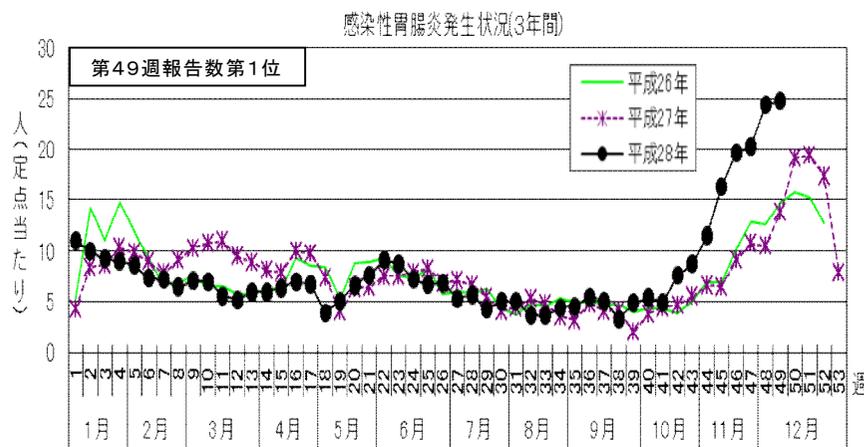


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成28年12月5日（月）～平成28年12月11日（日）〔平成28年第49週〕の感染症発生状況

第49週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) 流行性角結膜炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は24.78人と前週（24.42人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は3.53人と前週（3.80人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.44人と前週（3.11人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



年末年始に海外旅行へ出かける方へ～麻しん（はしか）対策～

年末年始のお休みを利用して海外旅行に行かれる方も多いかと思えます。

海外では、通常国内では感染しないような病原体に感染する可能性があります。予防接種を受けることで感染症にかかるリスクを下げるすることができます。

特に「麻しん」は、アジア・アフリカ諸国で、いまだに多数の患者報告があります。

麻しんにかかったことがない方や、予防接種を2回受けていない方が流行国へ行かれる場合は、十分ご注意ください。

※可能であれば麻しん含有ワクチンの接種をおすすめします。

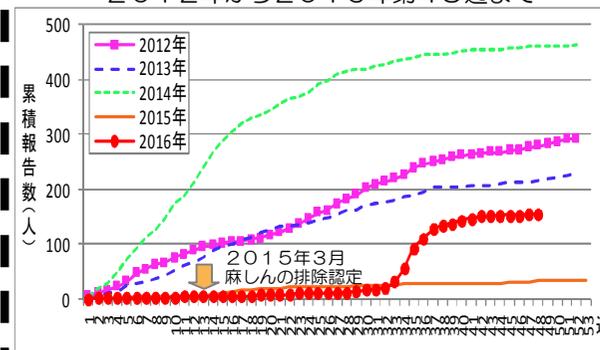
麻しんの特徴

感染経路：空気感染、飛沫感染、接触感染

潜伏期間：10～12日（最長21日程度）

主な症状：発熱、咳、鼻水など風邪のような症状で始まり、2～3日熱が続いた後39℃以上の高熱と発疹が出現します。

全国における麻しん累積報告数
 -2012年から2016年第48週まで-



各国の麻しん報告数
 -2016年4月から2016年9月まで-

